

平成27年度 第14回富里市教育委員会定例会議会議録

富里市教育委員会

- 1 期 日 平成28年3月22日(火)
開会 午後2時
閉会 午後3時21分
- 2 場 所 本庁舎3階第3会議室
- 3 出席委員 委 員 長 武 井 勝 彦
委員長職務代理者 佐々木 浩 二
委 員 森 田 惠 子
委 員 會 田 直 子
教 育 長 國 本 與 一
- 4 出席職員 教 育 次 長 大 竹 明 男
教 育 総 務 課 長 榊 原 孝
学 校 教 育 課 長 佐 藤 浩
学 校 給 食 中 心 所 長 大 木 正 吾
生 涯 学 習 課 長 荒 居 富 男
図 書 館 長 根 本 優
- 5 事務局職員 教育総務課課長補佐 中 津 義 孝

平成28年4月26日

署 名 人

署 名 人

会議録作成人

1 委員長開会宣言

委員長 平成27年度第14回富里市教育委員会定例会議を開会する。

2 前回会議録の承認

平成27年度第13回定例会議会議録承認（署名人：佐々木委員，國本教育長）

3 教育長報告

- ・2月26日，（仮称）向台こども園と（仮称）こども館の起工式に出席した。開園はともに平成29年4月を予定している。
- ・2月28日，富里市柔・剣道大会が行われたが，昨年から柔道の部は行われていない。参加者等が影響していると聞いている。
- ・2月29日，第4回子育て宣言策定委員会が行われ，作業は順調に進んでいる。新年度になったら教育委員の皆さまにも御意見をいただく考えである。
- ・3月3日，予算審査特別委員会で教育委員会関係の審査が行われた。
- ・3月4日，予算審査特別委員会の採決が行われ，平成28年度当初予算案が可決された。
- ・3月5日，富里高等学校の卒業式に市長とともに出席した。
- ・3月7日，8日，15日に各小学校でとみの国検定の合格証の授与を行った。
- ・3月10日，校長，園長と年度末の面接を行った。内容は，目標申告や特色ある学校づくり等のヒアリングである。
- ・3月17日，議会最終日を迎え，全議案が可決された。
- ・3月18日，日吉台小学校の卒業式に出席した。また，市役所職員の異動内示があった。
- ・委員の皆様には，一年間御協力いただき感謝する。
- ・今後の予定は，3月26日に洗心小学校統廃合対策協議会，28日に教職員辞令交付式，辞令伝達式がある。
- ・4月7日に中学校入学式，8日に小学校入学式，11日に幼稚園入園式があるので出席についてお願いする。

4 教育委員報告

委員 3月16日，浩養幼稚園卒園式が挙行された。園舎に入ると皆しっかりと挨拶をしており，清潔感があるので大変気持ちの良いものであった。卒園児は16名，在園児は12名であったので，家庭的な卒園式となった。天気が良く体育館には花が一杯飾られていて明るい雰囲気の中で式が進められた。式では子供たちの一人ひとりが園長先生から卒園証

書を受け取り、自分の保護者へ渡す場面があった。

にっこりとして子供の頭をなでる保護者や泣いている保護者がおり、来賓として参加している私も引き込まれた。浩養小学校校長併任の園長の話は勿論のこと、来賓の地元議員の話も印象深かった。みんなのことは小さいころから良く知っていると話しかけられていた。幼稚園と園児、保護者、地域との繋がりは大変深いものがあると思った。

3月18日、富里南小学校卒業式が挙行された。卒業証書授与、別れの言葉、歌など、どれも素晴らしいと感じた。卒業生85名のほかに1年生から5年生の全員が出席していた。低学年の児童が泣いている姿があり、卒業生との繋がりや深さを感じた。2時間弱の式であったが1年生も最後まで立派な態度であった。富里南小学校は、富里南中学校の魅力ある学校づくりの研究事業に関わっており、その研究成果がこのような場面にも生きていると感じた。児童自身が主体的に学校事業に関わろうという姿が学校を変えていると思った。こうした学校づくりに熱心に取り組んだ先生方の努力が実った卒業式であると感じた。

委員 3月11日、富里中学校卒業式が挙行された。卒業生233名と在校生が一体となった素晴らしい卒業式であった。卒業証書を受領する生徒一人ひとりが立派であった。式中の歌声はとても美しく、心に響いた。卒業生代表の答辞は、言葉に重みがあって、思い出の多い、充実した中学校生活を送ってきたということが感じられた。

伝統を守りながらも自分たちの風を吹かせたい、新たな伝統を築くために全力で取り組んできたこと、嬉しいこと悔しいことも仲間と一緒に汗を流し、頑張ってきたこと、辛く苦しいときに相談にのってくださった先生方、保護者の存在が大きかったこと、一緒に悩み、励ましてくれた大切な友達の存在があったこと、涙を流しながら懸命に伝える卒業生代表の姿に会場の誰もが感動した。4月からそれぞれの進路先で新しい挑戦が始まるわけであるが、自分の可能性をより広げていってほしいと思った。

3月18日、富里小学校卒業式が挙行された。111名の卒業生入場、校長先生から卒業証書を受領する一人ひとりの態度も立派であった。

その中でも門出の言葉には特に感動した。6年間の様々の思いを胸に小学校を巣立とうとする希望や決意が、一人ひとりの言葉に表れていた。

組み込まれていた4曲では、響きのある歌声、ハーモニーの美しさ、歌に託した今の思いを届けようとする一生懸命な姿は素晴らしく、会場から大きな拍手が湧き起こった。先生方の指導を受け、成長してきた子

供たちの姿がここにあると強く感じた。4月から中学生になり、更にたくましく成長してほしいと願った。

委員 3月11日、富里北中学校卒業式が挙行された。男子28名、女子40名、計68名の2クラスで、学校創立以来一番少ない人数であったかもしれない。富里北中伝統の送別の歌、卒業の歌は素晴らしかった。その中でも卒業生答辞は、今まで出席してきた中で一番素晴らしく、とても感動した。書いたものに眼を通さず、自分の思いを伝える感動的な答辞であり、校長先生の式辞でも感動に言葉を詰まらせ、卒業生や学校生活への思いが深かった卒業式となった。寒い日の卒業式であったが、心が熱くなる卒業式となった。式が終わり、控室に戻った後、来賓の間でも素晴らしい答辞であったとの声が聞かれた。

3月16日、向台幼稚園卒園式が挙行された。男子11名、女子14名、計25名であった。元気な卒園式であった。最後にPTA会長の挨拶の中で、平成28年度で向台幼稚園がなくなるという話を聞いて悲しいと感じたことがあったが、その後、なくなるわけではないと聞いて、今後とも向台幼稚園の発展を祈るという話であった。幼稚園の運営が良かったことがそのような挨拶となったものと感じた。

委員長 3月11日、富里南中学校の卒業式が挙行された。とても寒い日であったが、受付の女子生徒の笑顔や手を前に組んでお辞儀をする振る舞い、すれ違う生徒の挨拶が良かった。校長先生に尋ねると生徒たちの自主的な姿であるとのことだった。卒業生の答辞では盛り上がり、生徒は勿論のこと来賓の方も眼を潤ませていた。退場の際に保護者の皆さまを拝見すると、眼を真っ赤にしている方が多かった。中学校生活の3年間、学校においても家庭においても充実していたものと実感した。

魅力ある学校づくり、小・中交流会などにおいて、色々な課題を生徒に与えても、自主的に取り組んできたとの校長先生の言葉があった。教育委員会で進めるジョイントスクールの効果が出てきていると感じた。

3月18日、浩養小学校卒業式が挙行された。校舎に入り、環境の良さに感動した。控室、通路、体育館は、たくさんの花で飾られていた。

どこの学校でも同じように準備されていると思うが、保護者や地域の協力を基に作り上げた素晴らしい空間であった。式では卒業生のしっかりとした振る舞いが印象的であった。校長先生から卒業証書を受領し、壇上から降りて来賓にお辞儀をする際、しっかりと眼を見て行う所作であった。このような子供たちを見て、中学校と協力してしっかりと育てなければならないと改めて感じた。

5 議案

委員長 議案第1号から第11号までについて、提案者である國本教育長から提案理由の説明を求める。

教育長 議案に対する提案理由について説明をする。

議案第1号、教育委員会事務局職員の人事異動について、富里市教育委員会行政組織規則第8条第9号の規定により、教育委員会の議決を求めるものである。

次に、議案第2号、富里市立小学校及び中学校教職員の人事異動の内申について、富里市教育委員会行政組織規則第8条第8号の規定により、議決を求めるものである。

議案第3号、平成28年度とみさと教育プランの策定に当たり、教育委員会の議決を求めるものである。

次に、議案第4号富里市立幼稚園保育料等の減免に関する規則を廃止する規則の制定について及び議案第5号富里市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則を廃止する規則の制定については、富里市教育委員会行政組織規則第8条第2号の規定により、議決を求めるものである。

次に、議案第6号は、富里市学校適応専門指導員の任命について議決を求めるものがある。なお、任期は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までである。

次に、議案第7号は、富里市社会教育指導員の委嘱について議決を求めるものである。なお、任期は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までである。

次に、議案第8号は、富里市スポーツ推進委員の委嘱について議決を求めるものである。なお、任期は、平成28年4月1日から平成30年3月31日までである。

次に、議案第9号は、旧岩崎家末廣別邸保存活用基本構想策定委員会設置要綱の廃止について、議決を求めるものである。

次に、議案第10号は、旧岩崎家末廣別邸保存活用整備検討委員会設置要綱の制定について、議決を求めるものである。

次に、議案第11号、富里市社会教育関係団体の認定の取消しについては、富里市社会教育関係団体の認定に関する規程第7条の規定により、議決を求めるものである。

よろしく御審議の上、可決されるようお願いする。

委員長 議案第1号及び第2号の審議は、富里市教育委員会会議規則第10条第1項第1号の規定により、非公開としたい。異議はあるか。
賛成全員により、議案第1号及び第2号は非公開とする。

委員長 議案第1号を審議する。

(1) 議案第1号 教育委員会事務局職員の人事異動について

委員長 議案第1号は、賛成全員により原案のとおり可決した。議案第2号を審議する。

(2) 富里市立小学校及び中学校職員の人事異動の内申について

委員長 議案第2号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

議案第1号及び第2号についての審議を終了したので、非公開を解く。

次に、議案第3号を審議する。

(3) 議案第3号 平成28年度とみさと教育プランの策定について

教育次長 本議案については、前回会議で御協議いただいた内容である。協議の内容を踏まえて提案するものである。

委員長 前回の会議で協議した内容である。質疑等はあるか。

委員 道德教育の充実について、「学校便りやホームページ等で自校の道德教育を紹介したりして、家庭や地域社会との共通理解を図るための工夫をする。」とあるが、道德が教科になるということが話題になっているが、どのような工夫なのか、学校にどのような取組を期待するのか、教えていただきたい。

学校教育課長 道德教育は、長い年月をかけた指導が行われ、子供たちは指導を受けているが、今一つ家庭や地域からすると、どのようなことが行われているのか分からないという部分があると思う。行われている道德の授業を知ってもらうことが趣旨である。その紹介の手立てとして、学校便りやホームページで、例えば、今月はこのような授業を展開したなど、授業風景を含めて指導した価値項目を紹介する。子供たちが先月「思いやりの心」を道德で学んだことを家庭で知り、タイミングを合わせて子供に対し、似たような指導や躰などをしていただくことで、学校と家庭が両輪となって効果を高めていくことを期待している。

学校側として道德教育は、心の部分であり、具体的に分数や地理を教え

たという、はっきりしたものではないため、実際に道徳の授業を紹介するということは、中々見かけない。しかし、子供たちに必要なことであるから指導しているのであって、道徳教育の効果が広まるようにという期待を込めて教育プランに記載した。これを行うためには、充実した道徳の授業を展開していくことが大事であり、自信をもって、子供たちの心を耕しているということとなるよう、とみさと教育プランに記載したものである。

委員長 そのほか質疑等はあるか。

<採決>

議案第3号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

委員長 次に、議案第4号を審議する。

(4) 富里市立幼稚園保育料等の減免に関する規則を廃止する規則の制定について

学校教育課長 4月から市長部局に設置される(仮称)子ども課に事務を委任・委譲する関係で、これまで教育委員会で定められていた規則に代わり、新たに市長部局において規則を制定する準備が整ったので、教育委員会規則を廃止するものである。

委員長 何か委員から質疑はあるか。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第4号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

委員長 次に、議案第5号を審議する。

(5) 富里市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則を廃止する規則の制定について

学校教育課長 本議案も同様に市長部局の規則に改めるもので、教育委員会規則を廃止するものである。

委員長 何か委員から質疑はあるか。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第5号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

委員長 次に、議案第6号を審議する。

(6) 富里市学校適応専門指導員の任命について

学校教育課長 単年度ごとの任命であるが、ふれあいセンター中の教室運営、子供たち個々に寄り添って、それぞれに合った指導をしていただいていることから平成27年度に引続き次年度も任命をしていきたい。

委員長 何か委員から質疑はあるか。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第6号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

委員長 次に、議案第7号を審議する。

(7) 富里市社会教育指導員の委嘱について

生涯学習課長 単年度の委嘱である。職務内容は、家庭教育学級のお母さん、お父さんの相談役である。本指導員を頼って多数の者が相談に来るなど、信頼関係があるため、平成26年度、平成27年度に引続き委嘱をしたい。

委員長 何か委員から質疑はあるか。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第7号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

委員長 次に、議案第8号を審議する。

(8) 富里市スポーツ推進委員の委嘱について

生涯学習課長 定員は15名であるが2名が転居、転勤等で欠員となり、今回13名の委嘱をするものである。13名のうち1名が新任、12名が再任、任期は2年である。

委員長 何か委員から質疑はあるか。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第8号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

委員長 次に、議案第9号を審議する。

(9) 旧岩崎家末廣別邸保存活用基本構想策定委員会設置要綱の廃止について

生涯学習課長 平成26年度をもって基本構想の策定が終了したので廃止を

するものである。

委員長 何か委員から質疑はあるか。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第9号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

委員長 次に、議案第10号を審議する。

(10) 旧岩崎家末廣別邸保存活用整備検討委員会設置要綱の制定について

生涯学習課長 市指定史跡である末廣農場跡地、国登録有形文化財である旧岩崎家末廣別邸、これらの公園化に伴う必要な整備、適切な保存と活用について、年に3回の会議を開き、検討していただく。建造物に対する耐震改修、保存修理、庭園の復元に関することを事務所掌とする。

大学教授のほか基本構想の策定に関わった委員にお願いして整備計画を作成していきたく設置するものである。

委員長 何か委員から質疑はあるか。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第10号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

委員長 次に、議案第11号を審議する。

(11) 富里市社会教育関係団体の認定の取消しについて

生涯学習課長 富里市芸能協会は、昭和58年度に設置された団体で、平成27年度の現況届出では会員数23名であったが、会員数の減少により会の存続ができないため認定の取消しを上程するものである。

委員長 何か委員から質疑はあるか。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第11号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

6 報告事項

(1) 図書館運営のあり方について

図書館長 まず、富里市図書館協議会に御意見を伺った経緯であるが、近

年、公立図書館の運営について様々な御意見があり、全国で指定管理者制度を導入する図書館もある。特に、佐賀県武雄市立図書館がツタヤを運営するカルチャ・コンビニエンス・クラブを指定管理者として、平成25年4月から運営が始まり、全国的な話題となっている。

本市の議員から一般質問などで、指定管理者制度やコーヒーショップの導入などの御意見をいただいたこともあり、図書館では、平成27年度の図書館協議会の開催を年2回から4回に増やし、今後の図書館運営がどうあるべきか、基本的な運営の考え方を整理するため、委員に意見を伺うこととした。この度、3月11日開催の第4回目の協議会において委員から建議として御意見を取りまとめたものが提出されたので、教育委員の皆さまに報告するものである。

目次をご覧くださいと、内容は7項目に分かれており、「1 公立図書館の役割、2 富里市立図書館の現状、3 富里市立図書館の経費、4 図書館の効果と評価、5 富里市立図書館のサービスの課題、6 指定管理者制度（一部委託を含む）のメリットとデメリット、7 富里市立図書館の効率化」についての検討結果が記されている。

また、「おわりに」として六つの内容について、これからの富里市図書館に望む事柄が述べられている。最後のまとめとして、「指定管理者制度の導入自体を排除するものではないが、導入するか否かについて市が判断する際には、公益とは何かを明らかにし、導入の必然性を明示し、提起されることが必要だと考えられる。富里市の図書館が、地域のまちづくりや市民の自立的判断を支える情報拠点として、より一層充実発展し、市民が誇り得る図書館となるために、図書館とは何かという命題を常に考え、真摯に伝えていく姿勢を持ち続けることを心から期待したい。」と結ばれている。

この建議を受け、図書館職員一同、より良い図書館運営に努めていく。

この図書館運営のあり方については別件であるが、議員から図書館前の自転車駐輪場について御指摘を受けた。その内容は、開館当時、バーコラ部分を通路として運用し、駐輪場は、商工会館前に設置していたが、図書館開館後、年数を経てバーコラ部分の通路にバス利用者や図書館利用者の自転車駐輪場となっていることである。この件については、内部で検討を進めていくので御承知いただきたい。

委員長 意見、質問等はあるか。

委員 富里市図書館協議会のメンバーはどういった者であるか。

図書館長 学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動

を行う者、学識経験者の中から選任し、人数は10人以内で任期は2年となっている。

委員 この報告で図書館の効果と評価を見ると、富里市は優れていると感じた。また、昨年、実施した印旛管内女性教育委員の交流会で富里市立図書館を使用した。そのときの四街道市教育委員の感想は、富里市は本が揃っていて素晴らしいとのことであった。今後とも、より一層、内容が充実されることを期待する。

委員 他の市では、本の紹介をして終わりであるが、富里市はブックトリップという取組があって、とても良いと思う。達成率の現状は20パーセントであるが、先生方の呼びかけにより、25パーセントとか、もっと向上していくのではないかと思った。

図書館長 小・中学生を合わせて達成率が20パーセントである。中学生になると達成率が低くなる状況であるが、図書館と学校教育が連携して進めていくので、年度の初めになったらPRに努めていく。

委員 時間の延長、祝日開館など市民の要望を取り入れながら、市の図書館としての役割を果たしてきていることがよく分かった。ブックトリップのような取組は、富里市独自の取組でもあると思うし、今後もこのような取組を大切にしていきたいと強く感じた。業者に委託をすることについては、このような図書館運営の在り方についての報告を考慮して慎重に考えていかなければならない。図書館は、市民にとって大切な役割を果たす機関であるので、より充実したものになっていくことをお願いしたい。

図書館 図書館の利用者層を分析すると20代から30代前半の利用が落ち込む状況である。我々が考えていることは、幼児から小・中学生、高校生の方が図書館を利用することによって、数年後、数十年後を経た後にも図書館を利用していただけるようにということを考えている。

開館して十数年で、歴史は浅いのだが、学生のころ利用していた方が戻ってきて図書館を利用されるようにという思いで事業を進めている。

人的要件によることも大きいので委託すべきところは委託し、市職員で担うべきことは職員で行っていくことを基本に検討していきたい。

委員長 現状のままでも素晴らしい図書館であり、在り方についてもこのように研究されている。今後も素晴らしい図書館運営をしていただくよう期待する。

(2) 月例報告 (各課等)

教育総務課

・ 4月26日、次回の教育委員会定例会議を予定する。同日に印教連定期総会が15時30分に開会するため、通常14時の開会を13時15分に早めて行いたいと考えている。議案等が増えた場合は更に前倒しとなることも考えられるので、期日が近くなったらお知らせする。

学校教育課

・ 4月に入学式、入園式が行われるので出席をお願いする。

学校給食センター

・ 学校給食は、3月23日が今年度の最終日である。同日に学校給食センター運営委員会を予定する。4月8日から新学期の学校給食を開始する。

生涯学習課

- ・ 4月10日、市スポーツ推進委員委嘱式を行う。
- ・ 4月29日、市体育協会総会を行う。
- ・ 4月10日、青少年相談員18期感謝状贈呈及び19期委嘱状交付式を行う。46名定員のうち26名が再任、20名が新任、男女の比率は男性38名、女性8名である。平均年齢は40.3歳である。
- ・ 4月21日、家庭教育学級主事・学級長合同会議及び家庭教育学級連絡協議会定期総会を行う。
- ・ 4月29日、親子へらぶなつり大会が予定されている。100組の募集であるが、例年、40組から50組の参加となっている。

図書館

- ・ 3月13日、富里歴史講座の第3回目を終了した。
- ・ 3月24日、まるごと一日おはなし会を行う予定である。
- ・ 3月29日、春休み特別映画会を行う予定である。

7 その他

(1) 平成28年度市内幼稚園、小・中学校の空間放射線量測定の変更について

学校教育課長 東日本大震災による福島原発事故の後、全国各地で空間放射線量の測定が行われている。富里市においても学校施設の空間放射線量について、職員が校庭の真中に行って機械測定を毎月1回実施してきた。5年前の測定開始当時から高い数値は出ておらず、自然界に普通にある放射線量並であったが、少しずつ下がってきている状況である。平成28年度からは、3箇月に1回の測定で十分であるとの判断をした。

4月，7月，10月，1月の第2月曜日に実施する。実施したときに高い値が出た場合は臨時で8月，9月に測定するなど臨機応変に対応したい。測定場所や測定方法の変更はない。

給食センターで行っている食材の放射線量測定については，全国各地の食材を使う場合もあるので，今までどおりの実施とする。学校以外の市内の施設について，いろいろな課が，測定をしているが，回数を減らしてきているところが多くなってきている。

過去5年間の測定値で低い数値が出ていることを根拠として，測定回数を年4回とする報告である。

(2) 教育委員会の事務室の配置について

教育次長 教育委員会の位置の在り方について，経過を報告する。

旧保健センターの活用について，教育委員会としての案を取りまとめ，その後に庁舎等配置検討委員会に諮るところであるが，今現在，開催されないため，引続き開催を求めていき，教育委員会で取りまとめた案で同意を得られるよう取り組んでいく。

(3) スイカロードレース大会について

生涯学習課長 2万4,500人を超える申し込みがあり，13,000人前後となるよう抽選し，発送する。3月25日に参加者が確定する。

例年と比較すると1,000人ほど少ない。

8 委員長閉会宣言

委員長 以上で，平成27年度第14回富里市教育委員会定例会議を終了する。